

5 教育課程に関する調査 (小学校)

(1) 調査のねらい

現場の小学校における教育課程経営についての実態を把握するとともに、新教育課程実施1年の実践上の諸問題や今後の課題を明らかにし、その改善・充実を図る資料を収集する。

(2) 調査対象

- 学校用 研究協力校14校 (各教育事務所毎2校) 周辺校42校 (各研究協力校毎3校) 計56校
- 教師用 研究協力校職員 (校長・教頭・養護教諭・主査(事)を除く)
- 児童用 研究協力校の児童 (第6学年の抽出1学級)

(3) 調査内容 (抜すい)

| | | | |
|-------------|--|---|----------------------------------|
| 学年・学級経営 | い、学年・学級経営の実態と問題点について考察を加え、その充実、改善の具体策をさぐる。 | 3学級経営計画と実践への活用 4学年目標の設定と共通理解 5学年経営計画の基本的な考え方 6学年会の機能とその運営 | 営計画と実施・評価の関連 |
| 週指導計画 | 週指導計画の内容と活用の実際について調査し、日々の授業実践(教育課程の実施)の基盤としての問題点を明らかにし改善・充実の指針とする。 | 1授業の実際と週指導計画の役割 ◎2年間指導計画との関連性 3週指導計画の中にとりあげる内容(記載事項) ◎4授業の実践に生きるための改善策 | 教育課程実施の指針として週指導計画を見直す(計画と実践の一体化) |
| 新教育課程と授業の実際 | 新教育課程実施1年をふりかえり、その趣旨と実際の指導を関連づけて調査し県内の教師の一般的傾向をまとめる。 | 1新教育課程実施1年を経た教師の率直な感想 2新指導計画における授業展開上の問題点 ◎3重点目標・努力目標と授業との結びつき ◎4授業の質的改善を図るための課題 5教材内容の削減と指導の実際 6創意をいかけた教育活動の実践と反省 | 教育課程の編成と実施(計画より実施への流れ)の関連 |

3 児童用

| 番号 | 項目 | 調査のねらい | 研究との関連 |
|----|------------------|---|--------------------|
| 問1 | 児童の教育目標の意識と生活の実際 | 学校の教育目標は児童一人一人にどのような機会にその意識や関心をよびおこすのか、また、日常どの程度に理解され、生活そのものに結びついているのか、教育目標を児童の側にとって見直す資料とする。 | 教育目標の見直しと児童の生活の実態 |
| 問2 | 一日の日課表と児童の生きがい | 新教育課程実施にともなう一日の日課表の中で、児童に生きがい(よろこび・楽しさ・やる気)をもたせ、学校生活をより豊かに充実させるものは何かについて明らかにする | 創意をいかけた教育活動・日課表の改善 |

おわりに

教育課程経営の基本的事項(理論)については、本年度、諸説=文献の紹介程度にとどまらざるを得ないが、今後これらを吟味・検討することによって、理論上の構想を確立していく。

そして、第2年次の教育課程経営の概念規定や教育課程評価試案の作成へと発展させていく予定である。

県内各地区にわたる56校、約250名の教師、そして500名におよぶ児童による調査は、教育課程に関する現状を確実にとらえさせ、その結果は現場の各小学校の次年度の教育課程の経営に裨益するものと思われる。

以上、本研究の概要ならびに経過を中心とした当プロジェクトの状況を述べてきたが、第1年次研究紀要の内容充実を目指し、目下、調査の集計・分析、理論研究をすすめているところである。

| 「教育課程の経営」に関する研究 「教育課程に関する研究—小学校—」 福島県教育センター 1 学校用 | | | |
|---|---|--|---------------------------------------|
| 項目 | 調査のねらい | 調査の内容 | 研究との関連 ◎印 |
| 教育目標 | 教育目標が年度の学校の教育課題との関連を重視し、実践の指標としてどのように具体化されたかをつかむとともに、教師の教育目標に対する意識の実態をさぐる | 1新教育課程と教育目標の吟味 2教育目標の内容(価値)の分析 ◎3本年度重点目標と設定にあたっての留意事項 ◎4教育目標と教師の実践(意識と活動) | 重点目標の設定と教育課程編成への反映 |
| 課程の編成 | 教育課程の編成が組織的かつ計画的に、また編成の作業が合理的に進められたかどうかをつかむとともに、編成をめぐる諸問題(阻害要因)を明らかにする。 | 1編成の基本方針と新教育課程基準の改善のねらいとの関連 ◎2編成の組織体制・教師個々の任務 ◎3組織態勢確立を阻む要因 ◎4編成過程の検討と内容(指導要領の事前研究・実態調査・大綱の作成と審議) 5本年度教育課程編成にあたっての組織・日程上の問題点 | 全職員参加による組織的編成と合理的・能率的作業の推進 |
| 教育課程の評価 | 教育課程の編成と実施が適切に行われたかどうかの確かめとその改善方をたてるための評価について、実状を明らかにし、評価の研究開発の資料とする | ◎1教育課程評価の実施状況 ◎2教育課程評価の意義内容 ◎3教育課程評価の組織・方法・手順・時期・実施者 ◎4教育課程評価の問題点(本研究の中核となる資料をつかむ) ◎5新教育課程1年目の反省(成果と課題) | 教育課程の経営の問題点の所在と背景の分析(本研究の中核となる資料をつかむ) |

2 教師用

| 項目 | 調査のねらい | 調査の内容 | 研究との関連 ◎印 |
|----|------------------------------|--------------------------------|-----------------------|
| | 学年・学級目標及び学年・学級経営計画の視点から調査を行う | ◎1学級目標の意識と指導の実際 ◎2学級目標設定の手順 | 教育目標の学年・学級化 学年・学級経 |